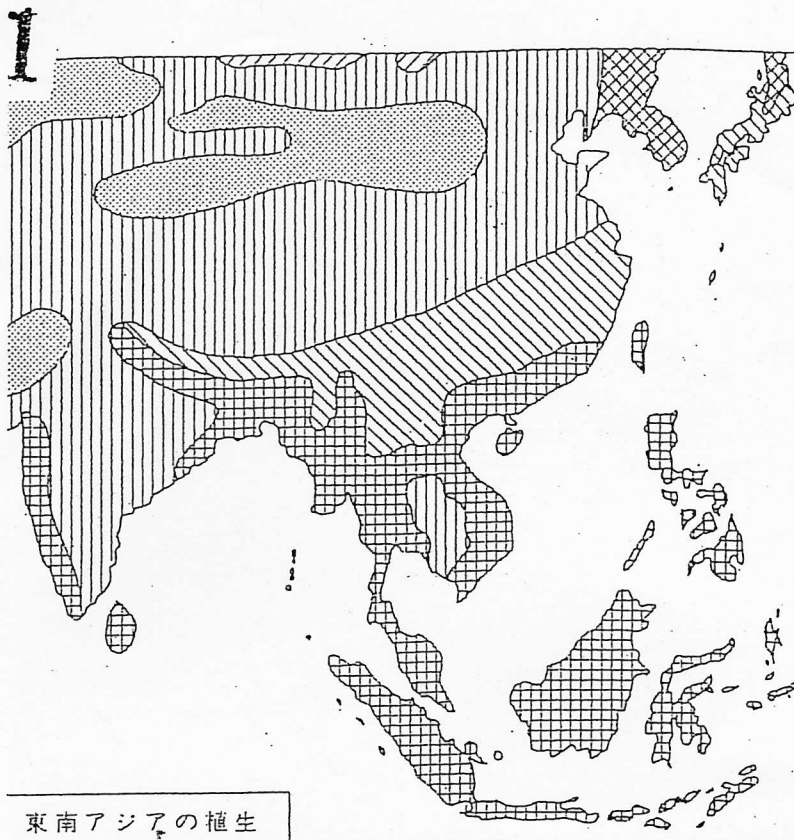
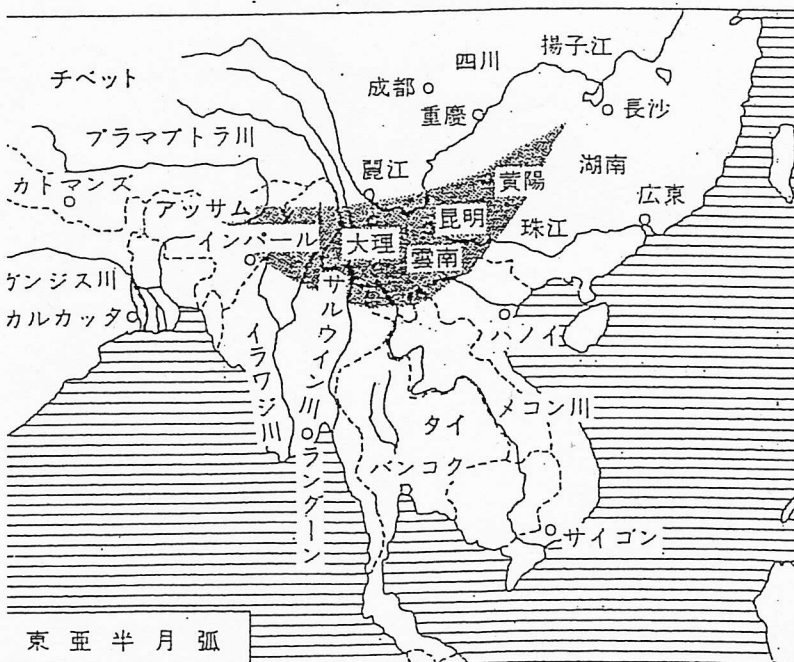
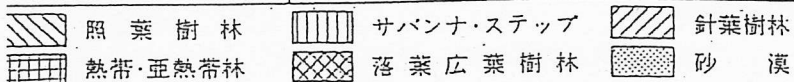


チャ *Camellia (Thea) sinensis*



東南アジアの植生



東亞半月弧

各化合物のツバキ属植物葉中の分布<sup>5)</sup>

試料	カ フ エ イ ン	テ オ ブ ロ ミ ン	テ ア ニ ン	カテキノン類							
				E C	(+) C	E G C	E C G	E G C G			
茶 節	茶 (var. <i>sinensis</i> )	卍	+	卍	卍	+	卍	卍	卍		
	茶 (var. <i>assamica</i> )	卍		卍	卍	+	卍	卍	卍		
	タリエンス	卍	+	+	卍	+	卍	卍	卍		
	イラワジエンシス 2系統	±	卍	+	卍	+	+	卍	+		
ツバキ節	ヤブツバキ	-	-	-	卍	+	-	-	-		
	ユキツバキ 2系統	-		-	卍	卍	-	-	-		
	鳳山椿 2系統	-		-	+	卍	-	-	-		
	サルウィンツバキ 2系統	-		-	卍	+	-	-	-		
	ビタルディ	-		-	卍	+	-	-	-		
カワリバ ツバキ節	フルフラセア	-		+	+	卍	+	-	-		
	グランサミアナ 2系統	-		-	+	卍~卍	-	-	-		
サザンカ節	サザンカ 2系統	-	-	-	+	-	-	-	-		
	オレイフェラ 2系統	-		-	-	+	-	-	-		
	キッシン 3系統	±		-	+	-	-	-	-		
ヒメサザンカ節	5 種	-		-	±	-	-	-	-		
ヤナギバサザンカ節	3 種	-		-	-	-	-	-	-		
雑種	タリエンス × 茶 12系統	卍		+	卍	+	卍	卍	卍		
	茶 × ヤブツバキ 3系統	+	~	卍	+	+	卍~卍	卍	卍~卍		
	ユキツバキ × 茶 (戸開き)	卍		+	+	+	+	+	+		
	サザンカ × 茶 4系統	+	~	卍	+	+	+	卍~卍	+		
掃蕩不明	ワビスケ 10系統	-		-	+	~	卍	+	~	卍	-
	ハルサザンカ 3系統	-	-	-	+	~	卍	+	-	-	-
	カンツバキ 3系統	-		-	+	+	+	-	-	-	
	オキナワサザンカ	-		-	-	+	-	-	-	-	
	タイワンサザンカ	-		-	-	+	-	-	-	-	

EC: (-)-エピカテキン, (+)C: (+)-カテキン, EGC: (-)-エピガロカテキン,  
 ECG: (-)-エピガロカテキンガレート, EGCG: (-)-エピガロカテキンガレート.  
 -: 0.01%以下, +: 0.01~0.3%, 卍: 0.3~0.1%, 卍: 1.0%以上  
 ただしサザンキンについては -: 未検出, +: 検出.

# 3

各国における「茶」の呼称 (橋本実氏作成)

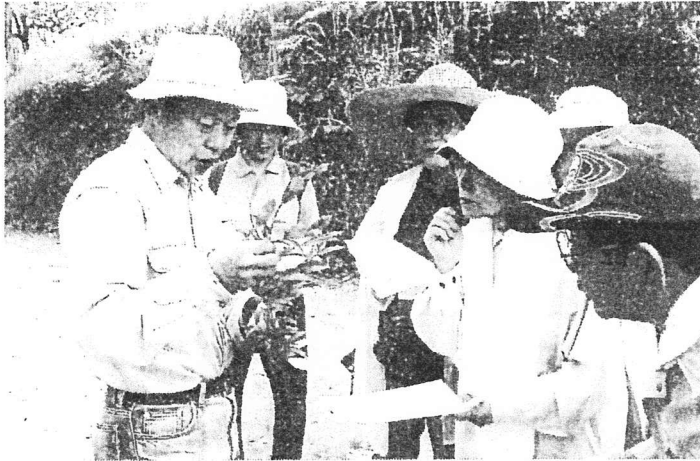
広東語系 (陸路)			福建語系 (海路)		
広 東	cha	(チャ)	福 建	te	(テ)
北 京	cha	(チャー)	マ レ ー	the	(テー)
朝 鮮	cha	(チャ)	スリランカ	they	(テーイ)
日 本	(sa)	(サ)	南 インド	tey	(テイ)
モンゴル	chai	(チャイ)	オランダ	thee	(テー)
チベット	ja	(ジャ)	イギリス	tea	(ティー)
ベンガル	cha	(チャー)	ド イ ツ	tee	(テー)
ヒンディー	chaya	(チャーヤ)	フランス	the	(テ)
イ ラ ン	cha	(チャ)	チ エ コ	} te	(テ)
ト ル コ	chay	(チャイ)	イ タ リ ー		
ギリシャ	ts-ai	(チャイ)	ス ペ イ ン	te	(テー)
アルバニア	cai	(チャイ)	ハンガリー	tea	(テァ)
アラビア	shay	(シャー)	デンマーク	} te	(テ)
ソ 連	chai	(チャイ)	スウェーデン		
ポーランド	chai	(チャイ)	ノルウェー		
ポルトガル	cha	(チャ)	フィンランド	tee	(テー)

# 栽培から摘みとりまで“マイお茶づくり”

## 山背古道お茶探検隊

4

お茶栽培から茶摘みまで“マイお茶づくり”を行う「山背(やましろ)古道お茶探検隊」は、お茶作りを通じて、自然とふれあい、人との交流を楽しむサークルです。そのユニークな活動にひかれて茶畑を訪ねてみました。



探検隊のメンバーに、茶摘みの指導をする林屋和男さん(左はし)

培、製造、加工、販売、鑑定などオールマイティにこなしてきた経験を生かします。

### 手作りの良さと笑顔

代表の石原洋子さん(71)=京田辺市=は、「最初は、茶畑は荒れ放題で、どこに茶木があるのというぐらいやったんですよ。自分たちで摘んだ茶葉がお茶になった時のうれしさといったら」といいます。

手作りのパッケージを担当する西村くりさん=京都市=は、「一度茶摘みをやってみたかったけど、単純作業が続いて、足はパンパンになるし大変やった。石原さんの手作りの料理につられて来ているうちに、お茶に愛着がわいてきて、今は茶殻も捨てずに、料理に使ってます」といいます。

手作り煎茶の茶葉は荒茶ですが、お湯を注ぐと、緑茶のいい香りが立ち、味もまるやか。何よりも手作りの良さがあふれ、会員の笑顔が浮かびます。お茶づくりの魅力に引き込まれる訳が納得できました。

「隊」の活動をまとめた『手づくりのお茶を楽しむ—山背古道お茶探検隊が指南するマイお茶のススメ』(文葉社、171頁、1800円+税)も3年前に出版。お茶の魅力を探検する活動は、これからも続きます。

(辻井祐美子記者)

15日、JR奈良線山城多賀駅(綴喜郡井手町)から800mほど東、果樹畑や竹林が広がる観光農園「みどり農園」の一角の茶畑から、笑い声が聞こえてきます。1mほどに繁った草引きと害虫予防のための木酢液の散布が終わったところでした。昼食後は、茶木の挿し木をして楽しみました。事務局長の尾崎直利さん(53)=木津川市=は、「作業は午前中にすませて、昼からの活動はお楽しみ企画にしています。来月は烏龍茶づくりです。みんなが集まって楽しくやる、それがモットー。長続きしてきた秘訣かな」。

茶畑、同農園の碾茶(抹茶)用の茶畑の一部200平方メートルを借りて、スタートしました。

毎年、煎茶で60kg、玉露25kgの茶葉を摘んで、製茶は工場で作ってもらい、煎茶と玉露の合わせて160袋を作っています。



### 放置茶園を借りて

同探検隊は97年、「山城のあちこちで見かける放置茶園を借りて、お茶づくりができないか」との仲間同士の話から、結成に至りました。

同農園の放置茶畑を自分たちで整備することを条件に、みかん畑に隣接する急斜面の100平米の煎茶用

会員は現在30人余り。年代は30代から70代まで、大阪、奈良、京都などからお茶作りには無縁だった人たちが集まります。

「隊」の活動を技術面で支えるのは、林屋和男さん(66)=宇治市=。老舗の茶製造業を営み、茶畑の栽

教育  
文化 ...

5

# 宇治のお茶便り

日本茶インストラクター  
林屋 和男

## 5 茶の花と実

いま晩秋から初冬のころ、茶の木の中をのぞいてみられると、白い花に気付かれることと思います。茶はサザンカと同様ツバキの仲間です。花の時期は寒くなってからです。ほのかな白い花びらの中央に鮮やかな黄橙色の雄しべが目立つ、梅の花に似た可憐な花です。昔から俳人にも親しまれています。

茶の花や 白にも黄にも、おぼつかな  
蕪村

さらに茶の木に近づいてよく見ると、ツバキの実を小さくしたような丸みのある茶の実が見つけられるかもしれません。これは昨年咲いた花が一年かけて熟したものです。

\* \* \*

多くの植物は開花後出来るだけ早く種を熟させようとします。これは自然界では当然のことと思いますが、茶の場合は開花後、半年経っても種の中は液体です。秋になってやっと実ります。余談ですが、この実の形を模して「茶の実紋」「向う茶の実紋」が作られ、今年度で姿を消す府立城南高校の校章にもなっています。

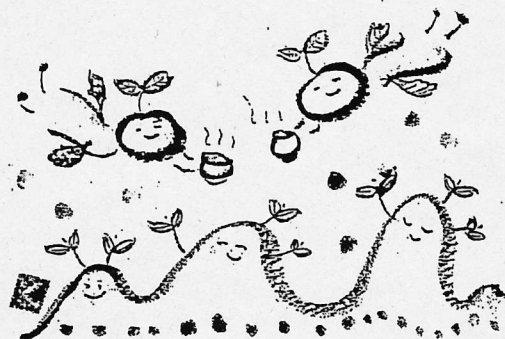
このように茶の木では、ちょうど今、

花と同時に実も見られます。言い換えますと茶の木とは文字通り「花も実もある」植物で、大変めでたい植物だと言えるのではないかと思います。

茶の花の 中にまじりて 茶の実かな  
子規

お茶はなぜか関西では仏事に使われることが多く、不祝儀の贈り物と考へてられる方もおありでしょうが、例えば北九州では結納や結婚の引き出物に必ず使われている、めでたい贈り物でもあります。これは茶の木が一度植えれば、その地に根を張り、移植が出来ないからです。どうぞお祝い事にも安心してお茶をお使い下さい。

(次回は1月11日号)



西村くり